

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社光 荒本流通センター新築	階数	地上5F
建設地	大阪府東大阪市荒本西3丁目	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2022年4月11日
敷地面積	1,330㎡	作成者	宗和建築設計事務所 宗和 久彦
建築面積	1,058㎡	確認日	
延床面積	4,932㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・㎡)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

音環境	3.4
熱環境	2.7
光・視環境	3.3
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7

機能性	2.8
耐用性	2.7
対応性	2.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.7

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.9

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6

水資源	2.2
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.0
地域環境	2.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	BPImを0.8以下に抑え建物の熱負荷抑制に配慮した。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	開口部遮音性能T-2を取得し、室内環境向上に努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し。
LR1 エネルギー	特に無し。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った。
Q2 サービス性能	特に無し。	
LR2 資源・マテリアル	特に無し。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0131

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	株式会社光 荒本流通センター新築工事					
	建設地	大阪府東大阪市荒本西3丁目					
	用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					2	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.0	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.0	2
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		